

貼る？塗る？飲む？

女性ホルモンを補充するお薬について

ホルモン補充療法(HRT)のお薬は3タイプ

錠剤(飲むお薬)



- 錠剤を毎日服用するので、服用日数の確認が簡単です。
- 胃腸から吸収され、肝臓を通して血液中に入ります。

貼付剤(貼るお薬)



- 小さなパッチ状のお薬を下腹部または臀部に貼ります。
- お薬は、数日に1回貼り変えます。
- 成分が皮膚から直接吸収され血液中に入ります。
- 胃腸や肝臓への影響が少ないとされています。

いろいろな
お薬のタイプが
あるのね!

塗布剤(塗るお薬)

- ジェル状のお薬を大腿部、下腹部もしくは手首から肩に毎日塗ります。
- 成分が皮膚から直接吸収され血液中に入ります。
- 胃腸や肝臓への影響が少ないとされています。



監修:石塚文平 聖マリアンナ医科大学産婦人科名誉教授・ローズレディースクリニック院長

作成:久光製薬株式会社
2016.07-AL-0

ESTS032R00(B)

2

更年期をいよゝき過ごすための情報サイト
エンジョイエイジング®

エンジョイエイジング

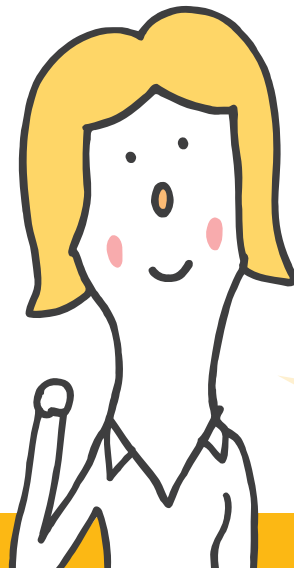
検索



医師と相談して 自分に合ったタイプのお薬を

減少した女性ホルモン(エストロゲン)を補う治療法のことをホルモン補充療法(HRT:Hormone Replacement Therapy)と言います。

HRTのお薬には、大きく経口剤と経皮剤があります。経口剤とは、いわゆる飲むお薬で、お薬の成分は胃腸から吸収されて肝臓を通り、そこから血液中に入って働きます。経皮剤は、お薬の成分が胃腸や肝臓を通らず皮膚から直接吸収され血液中に入って働くお薬です。パッチ状の貼るお薬と、ジェル状の塗るお薬があります。



HRTのお薬は、 経口剤(飲む)か 経皮剤(貼る、塗る)

経口剤は、

- 😊 手軽で、服用日数の確認が簡単です。
- 😞 肝臓や胃腸へ影響をおよぼす場合があります。

経皮剤は、

- 😊 肝臓への影響が少なく、血中中性脂肪への影響が出にくいとされています。
- 😊 肝臓への影響が少ないとされています。
- 😞 肌に合わない方は、かぶれることがあります。

私に合うのは、
どのタイプかな？

